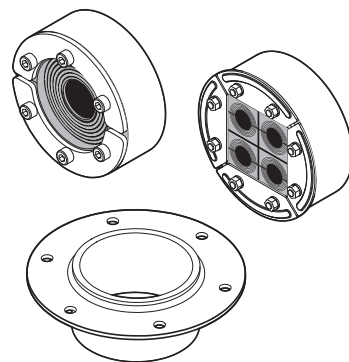




施工チェックリスト Roxtec 丸型貫通部フレームおよびシール

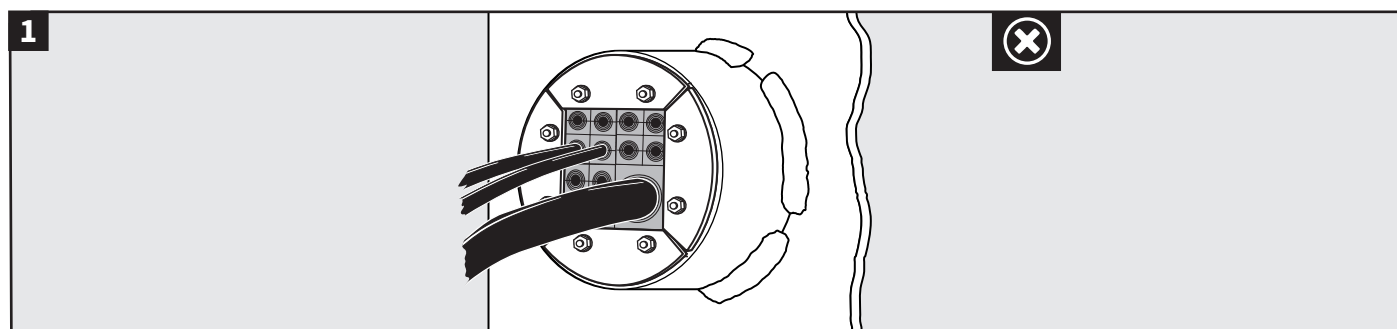


チェック項目

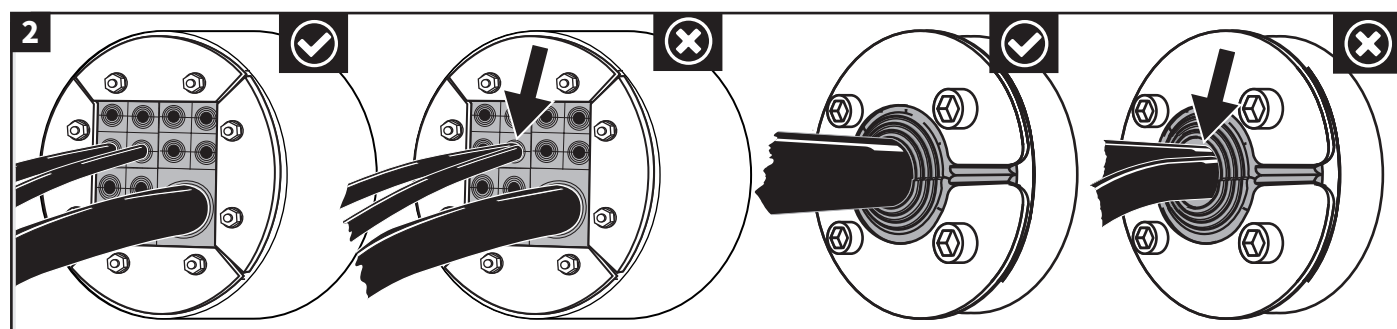
-  正しい施工
-  適切でない施工

重要

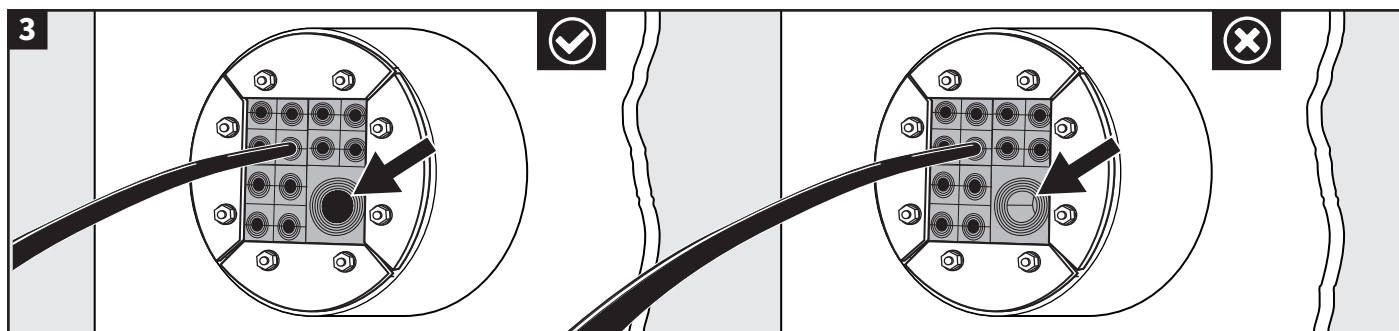
本リストにある施工チェック項目は、Roxtec ケーブル/パイプ貫通部シーリングシステムの施工を目視で診断、評価するために使用します。このチェックこのチェック試運転や機能点検を目的としたものではなく、施工が正しくできているかを目視で確認するために行うものです。この確認、評価作業は、品質保証という点で役立ちますが、施工上のすべての間違いを目視で検出できるわけではない点をご理解ください。施工チェックは、その実施日に確認箇所へアクセスできること、また立ち入りを許可された場所に限定されます。本施工チェック項目の適用範囲は、貫通部（フレーム、モジュール、ステイプレート、ウェッジ）に限ります。したがって、構造へ取付けた貫通部周辺部材の品質、たとえば断熱材が十分かどうか、あるいは配線/配管が正しくなされているかという点は対象としていません。可能であれば、貫通部の両側から施工チェックを行ってください。



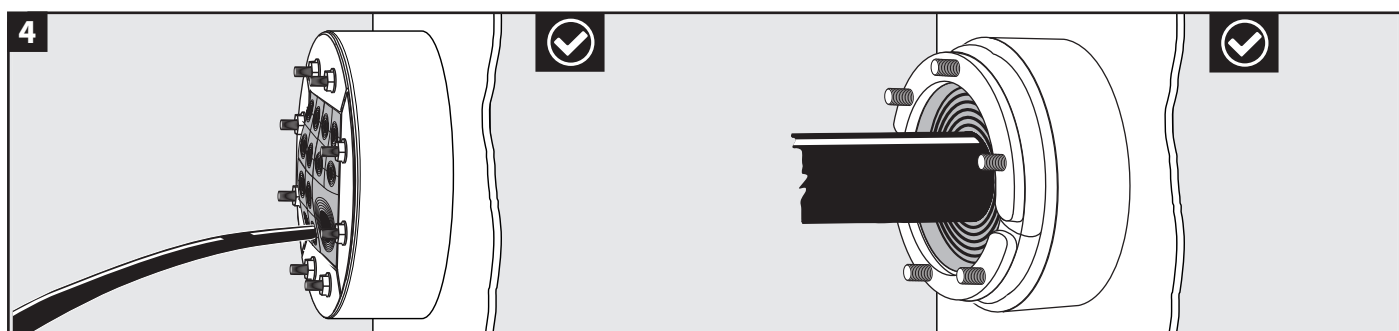
貫通部フレームとシールに機械的損傷がないことを確認します。
必要に応じて、表面保護と溶接の状態も確認します。溶接については、Roxtec 溶接ガイドラインを参照してください。



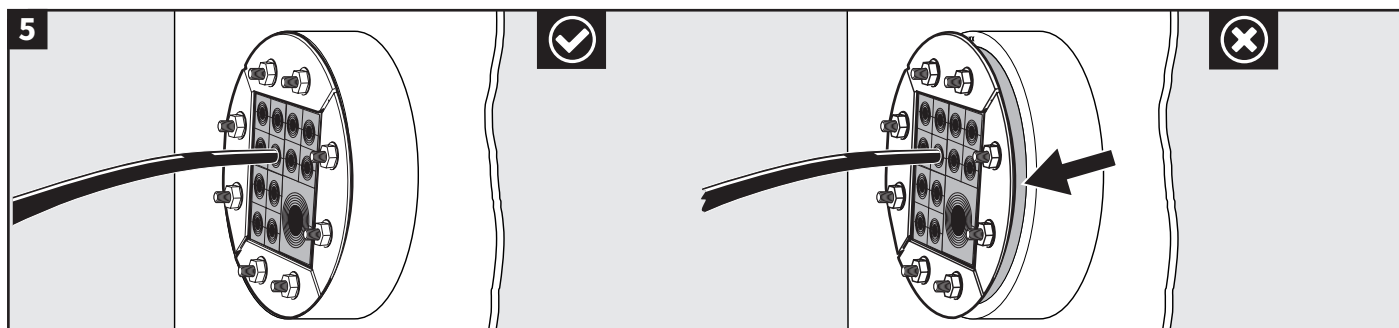
各モジュールまたは開口部を通るケーブル/パイプが1本だけか確認します。



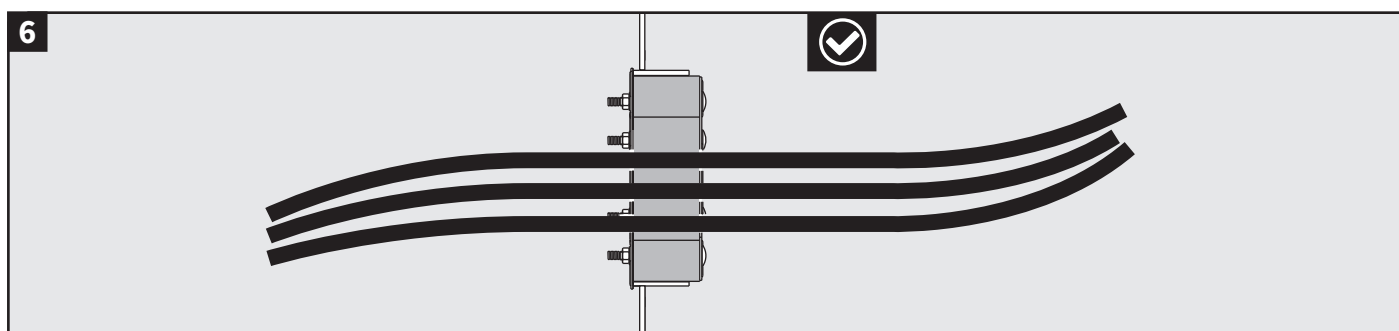
ケーブル/パイプが通らないモジュールに、黒い芯棒が入っていることを確認します。



ボルトの締付け加減がすべて同じくらいか確認します。

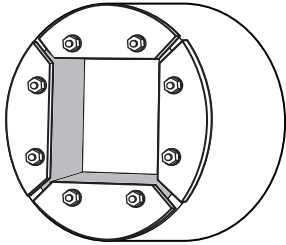


シール材がスリーブの中に完全に押し込まれているか確認します。



フレームに対してケーブルが真っ直ぐに通っていることを確認します。

7



名称

パッキンスペース (mm)

R 50

30 x 30

R 70

40 x 40

R 75

40 x 40

R 100

60 x 60

R 125

80 x 80

R 127

80 x 80

R 150

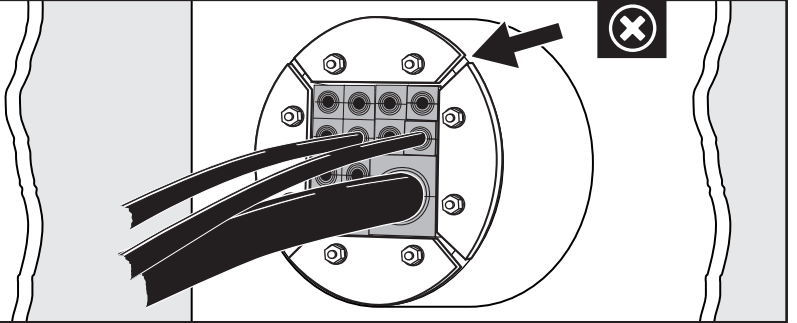
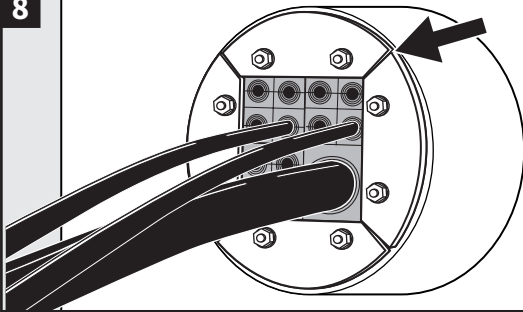
90 x 90

R 200

120 x 120

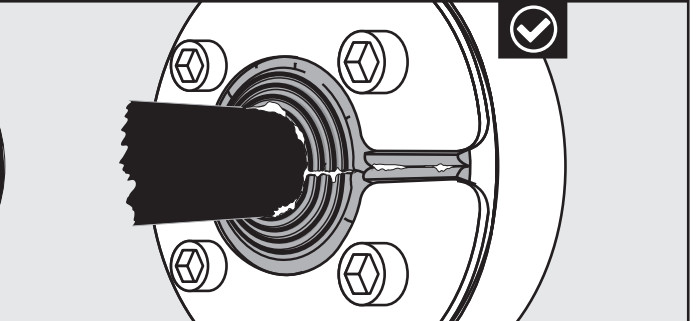
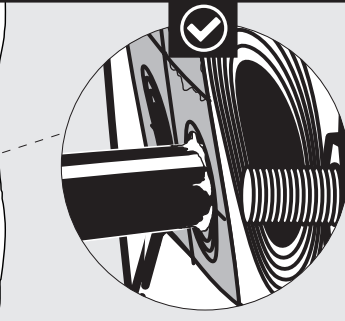
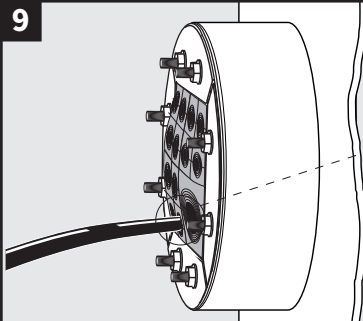
R フレームの場合：
パッキンスペースの寸法を正しく理解しモジュールを詰めているか確認
します。

8



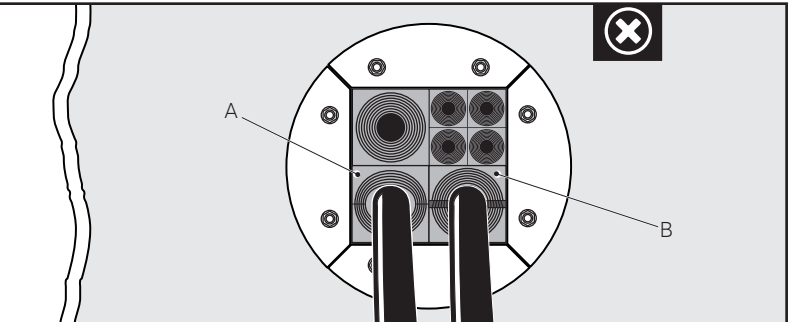
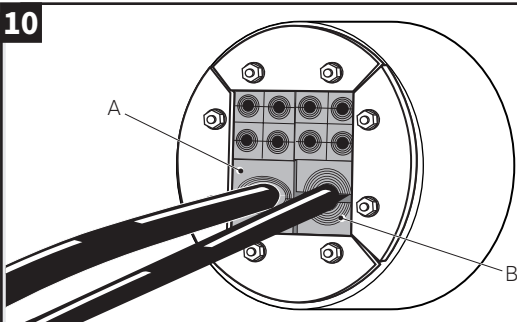
圧縮でモジュールが飛び出さないよう、フロントフィッティング (表金具) が正しい位置にあることを確認します。

9



圧縮が十分に確認します。すべてのボルトを同様に締付け、絞り出された潤滑剤を確認できれば、貫通部が十分に圧縮されたしるしです。

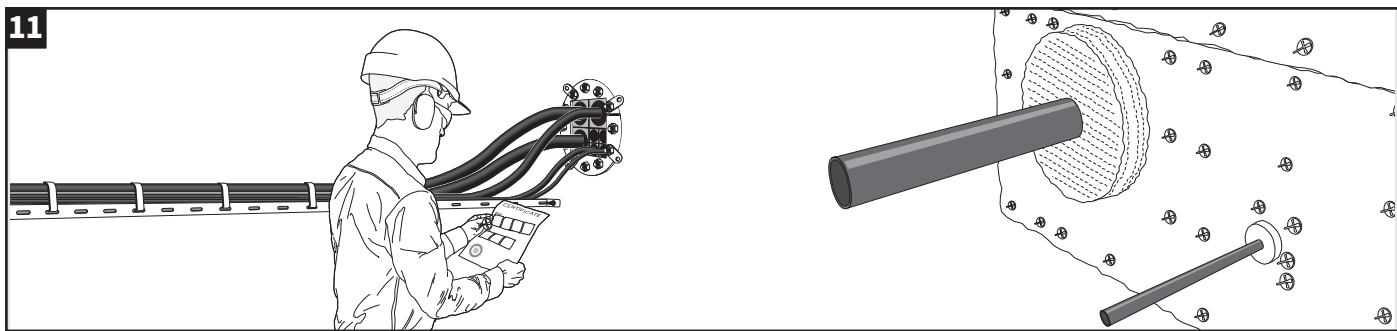
10



A = レイヤーを剥ぎ取り過ぎた例

B = レイヤーの剥ぎ取りが十分でない例

ケーブル/パイプを挟んだモジュールの間に隙間ができていないことを確認します。セットとなる上下モジュールのレイヤー枚数差は1枚までです。
ボルトを締付けた後、モジュールがフロントフィッティング (表金具) の内側に収まっていることを確認します。



必要に応じて、追加で行われた施工の状態を確認します。

注

- 可能であれば、貫通部の反対側も確認してください。
- 認証の要件に従って、断熱材などの施工状態も合わせて確認してください。

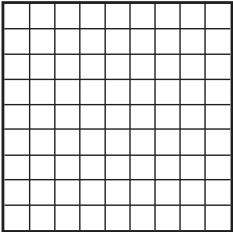
施工チェックリスト - 丸型貫通部フレームおよびシール

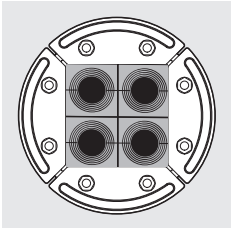
プロジェクト/対象：

貫通部名：

フレーム種類：

開口部：





実施日：

担当者氏名：

会社名：

署名 (印)：

チェック項目 次の項目を確認してください。		問題なし	問題あり
1	貫通部フレームとシールに機械的損傷がないことを確認します。		
2	各モジュールまたは開口部を通るケーブル/パイプが 1 本だけか 確認します。		
3	ケーブル/パイプが通らないモジュールに、黒い芯棒が入っていることを確認します。		
4	ボルトの締付け加減がすべて同じくらいか確認します。		
5	シール材がスリーブに完全に押し込まれているか確認します。		
6	フレームに対してケーブルが真っ直ぐに通っていることを確認します。		
7	R フレームの場合： パッキングスペースの寸法を正しく理解しモジュールを詰めているか確認します。		
8	圧縮でモジュールが飛び出さないよう、フロントフィッティング (表金具) が正しい位置にあることを確認します。		
9	圧縮が十分か確認します。		
10	ケーブル/パイプを挟んだモジュールの間に隙間ができていないことを確認します。		

備考：

免責条項

「Roxtecケーブル貫通部シーリングシステム」(「Roxtec system」)はコンポーネント部品で構成されるモジュラーベースのシーリングシステムです。それぞれのコンポーネント部品はRoxtec systemが最高の性能を発揮するために欠かすことは出来ません。Roxtec systemは様々なアプリケーションに対応する為、数多くの認証を取得しております。このため、Roxtec systemに設置された全てのコンポーネント部品がRoxtecまたはライセンス許可を受けた(「認定製造業者」)により製造されなければ、認証は無効となります。Roxtecは下記の要件が満たされない限り、Roxtec systemの性能は保証することが出来ません。

(i) Roxtec systemの一部として設置された全てのコンポーネント部品は認定製造業者より製造されていること、および (ii) 買主は下記の(a)ならびに(b)を順守すること。

(a) Roxtec systemまたはそのコンポーネントは室内において元の梱包通りに室温で保管されること。

(b) 設置はその時点で有効であるRoxtecの取付方法説明書に従って行われること。

Roxtecにより提供された製品情報は、Roxtec systemまたはその一部を購入した買主による本製品の用途、設置および/または使用の適合性の確認義務を放棄するものではありません。

Roxtecは、認定製造業者に製造されていないコンポーネント部品を含むRoxtec systemsが使用された場合、および/またはRoxtec systemが意図された設計・用途以外の方法で使用または適用された場合、Roxtec systemまたはその一部を保証するものではなく、上記により生じた直接的、間接的、結果的に発声し得る利益の損失やその他の損失や損害に責任を負うものではありません。

Roxtecは商品性および特定目的への適合性の黙示保証、ならびに制定法または判例法により定められた全ての明示または黙示の表明と保証を明示的に除外します。ユーザーは意図された使用に関するRoxtec systemの適合性を判断し、関連する全ての危険性と責任を負うものとします。いかなる場合にもRoxtecは間接的、結果的、懲罰的、特別、付随的損害または損失に責任を負うことはありません。」



Roxtec International AB
Box 540, 371 23 Karlskrona, SWEDEN
+46 455 36 67 00, info@roxtec.com
www.roxtec.com